

わが数学科 (第34回-2)

千葉明德高等学校の巻

1 学校紹介

本校は、大正14年(1925年)に千葉淑徳高等女学校として創立し、昭和22年(1947年)、校名を千葉明德高等学校に改称しました。そして、昭和39年(1964年)、千葉市中央区南生実町に移転し、現在に至っています。また、今年度、千葉市中央区で初の中高一貫校となりました。中国の古典「大学」の一節にある「明德」という2文字に込められている「自分の可能性を明らかにする」ことを高校3年間で実現させることを教育方針として位置づけています。集団生活を通して、自己を磨かせつつ、一人一人の生徒に対してきめ細かな指導をしている学校です。特別進学、総合進学、スポーツ科学の3コース制を配置し、それぞれの特色を生かすべく、教育活動を行っているところです。とりわけ、本校のスポーツ科学コースでは、全員が運動系部活動に所属し、日々の練習に打ち込むのは勿論、学習活動でも高い目標と志を持って切磋琢磨する多くの生徒の姿が見られます。

2 教育課程

特別進学コースでは、土曜・放課後補習を含め、週40時間の授業を行っています。大学進学に特化したカリキュラムを採用していますが、詳細は割愛し、以下、総合進学、スポーツ科学の2コースについて掲載します。

総合進学	1年	2年		3年 [※]
		文系	理系	理系
数学I	3			
数学II		3	4	
数学III				4
数学A	2			
数学B			2	
数学C				3

※3年次では、選択授業として、

- 演習数I A (3単位)
- 演習数II B (3単位)
- 演習数I II A (3単位)
- 理系演習数学 (2単位)

を用意し、生徒は希望に応じて履修しています。

スポーツ科学	1年	2年	3年 [※]
数学I	3		
数学II		(3)	
数学III			
数学A		2	
数学B			
数学C			

※3年次では、選択授業として、

- 演習数I A (3単位)
- 教養数学 (3単位)

を用意し、進路希望・興味関心に応じて履修しています。

()は選択

1年生の場合、全10クラス中、特進1、総合進学7、スポーツ科学2というコース構成になっています。

家庭学習の定着をはかるため、1年生に対して、ほぼ毎回の授業で宿題を課し、適宜、小テストをやって理解度の確認を行い、必要な手立てを講じるようにしています。

今まで、総合進学・スポーツ科学コースでは、2・3年生では必修科目を減らし、生徒の希望に応じた様々な授業科目が履修できるようにと、大幅な選択制を取り入れた「選択講座制」を採用していました。来年度から始まる新課程では、これに軌道修正を加えていく予定です。数学IIはスポーツ科学コースでも必修にします。

授業外活動としては、次の2つを大きく位置づけています。

- 夏休み2回・冬休み1回実施する進学希望者対象の講習会（各5日間）
- 基礎計算力が不足している生徒を対象に行う1年生の勉強会

後者について補足すると、高校入学時に計算テストをやり、対象者をピックアップし、1年間、週1回のペースで放課後30分程度の時間でやっています。

3 数学科紹介

数学科の職員は11名です。うち6名が50歳以上で、高年齢者の占有率が高いといえます。下の集合写真で見ると、前列と後列が見事に（1人を除いて？）年齢分化していますね。週1時間、教科会が設定されていますが、教科会以外の時間に、同じ科目を教えるメンバー同士で、進度・指導内容のポイント・教え方の工夫等をめぐって、ひんばんな打ち合わせが持たれています。また、老若男女の違いを乗り越えて、ざっくばらんに雑談したり、悩みを出し合い相談をしあう和気あいあいとした雰囲気です。複数の科目で、プリント形式の教材が進化した（本校独自と言って良い）オリジナル教材冊子が出来つつあるのも、こうした背景があるからだと思います。



（後列）中島，宍倉，木村，佐藤，増田，宮内

（前列）鈴木，竹山，山田，町田，田村